

SEIKATSUKA

受賞作品 | 生活科部門

〈総評〉

今年の夏休みの研究発表では、例年より作品数は少なかったものの、一つひとつの作品の質が高く、熱心に取り組まれたことが伝わってきました。中でも、生き物に関する研究が多く見られ、自然や生物への関心の高さが感じられます。また、国際分野に関する研究や自分が住んでいる地域に関する研究など、多彩で興味深い内容が揃っていました。どの作品にも共通しているのは、「好き」という気持ちを原動力に、テーマに対する情熱を持って取り組まれている点です。好きなことに真剣に向き合う姿勢は、研究の内容にもよく表れており、その情熱が素晴らしい成果に結びついています。一方で、資料のレイアウトやまとめ方にはレベルの差が大きく出たように思います。専門的な内容であっても、誰でも理解できるようにまとめられた研究は、内容の素晴らしさが際立っておりました。対して、研究結果のまとめ方が雑であったり、わかりづらかったりする作品は、大変もったいなく感じました。研究をすることに留まらず、その研究を多くの人に伝えることを意識した作品が増えると良いと思います。来年も何卒よろしくお願い申し上げます。



文部科学大臣賞

ぼくバデル パラリく上のおうえんで
クウェートとつながったよ
兵庫県 神戸市立井吹東小学校 2年
永添 智之



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

たびするマグロ！
東京都 白百合学園小学校 2年
綿貫 瑠美



全国小学校生活科・総合的な学習 教育研究協議会 会長賞

ミミズは、ぜつめつしないのか？
～わたしのミミズ日記～
神奈川県 茅ヶ崎市立浜須賀小学校 2年
大貫 まゆ子



中央出版株式会社 社長賞

ぼくにもわかる！アレルギーひょうじ
愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 1年
佐藤 悠千



優秀賞

えきのけんきゅう
静岡県 静岡大学教育学部附属静岡小学校 1年
河村 歴

文部科学大臣賞

ぼくバデル パラリく上のおうえんで クウェートとつながったよ

永添 智之 | 兵庫県 神戸市立井吹東小学校 2年



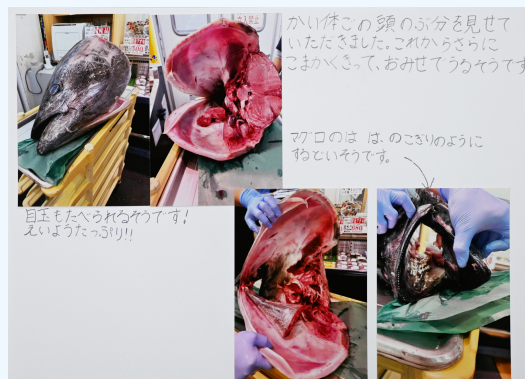
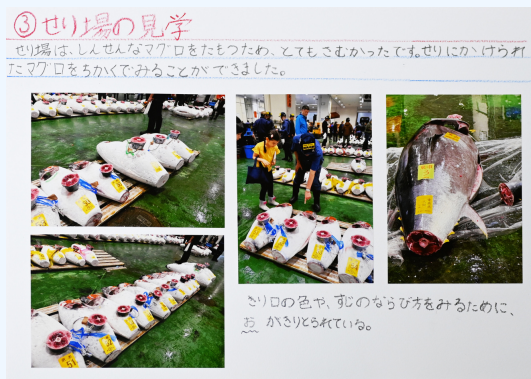
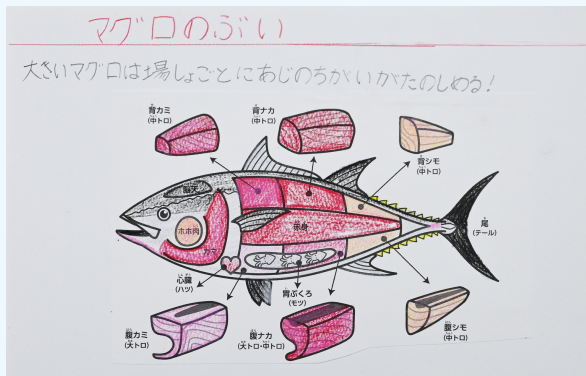
〈選考理由〉

神戸2024世界パラ陸上を観戦しに行った智之さんは、日本だけでなくさまざまな国の選手を応援するために、多様な国旗のイラストを持っていきました。表彰式の際にクウェートの国旗を見せていると、その様子からクウェート大使館に招待されることになり、どのような国なのかを調べることにしました。智之さんが見たことや体験したことを、関連する出来事と交えて行動に移す様子が印象的で、知的好奇心のつなぎ方が大変素敵だと感じる作品でした。

疑問の源泉やアイデアの元がごく身近なことや智之さん本人の経験から生まれている点も、小学生だからこそその発想のように感じます。体験したことがあるからこそ、パラ陸上を見に行ってみようと考えたり、野球の応援方法を真似てみようとしたりといった姿勢はぜひこれからも続けてください。

たびするマグロ！

綿貫 瑠美 | 東京都 白百合学園小学校 2年



〈選考理由〉

マグロのお刺身が大好きという瑠美さん。国語の授業で学んだスイミーに出てくるマグロがどうやってお刺身になるのかを、順を追って調べることにしました。事前調査として、マグロの種類や生体についての知識を蓄え、水族館・市場・スーパーの鮮魚コーナーとすべて自分で足を運んでインタビューを行っています。

瑠美さんが行った各所でお仕事をされている方に直接お話を伺い、時間と行動力を使うことでしか手に入らない情報が多く掲載された作品になっています。マグロを食卓に届けるまでに関わっているさまざまな人たちの、技術や苦労などについてもインタビューで尋ねていました。

生物としての側面と商品としての側面の両側から多角的に調べられている点が非常に好印象です。人がたくさん関わることで、マグロを取り巻く環境が非常に多岐にわたっていることを知った瑠美さんは、研究の最後に「次はマグロの養殖に興味が出た」と締めくくっていました。好奇心の広げ方が大変素敵だと思います。これからもマグロについての研究を続けてください。

全国小学校生活科・総合的な学習教育
研究協議会 会長賞

ミミズは、ぜつめつしないのか？ ～わたしのミミズ日記～

大貫 まゆ子 | 神奈川県 茅ヶ崎市立浜須賀小学校 2年



〈選考理由〉

登校中にたくさんのミミズの死がいを見つけ、不思議に感じたまゆ子さん。このままではミミズが絶滅してしまうのではないかと、ミミズの生態について研究することを決めました。毎日同じ時間、同じ場所で、生きているミミズと死んでしまったミミズの数数を数えて記録することから、この研究はスタートします。

毎日の観察や試行錯誤を積み重ね、最後にはミミズの飼育に成功しました。ミミズの飼育に成功するまでの道のりは、決して簡単なものではありませんでしたが、それを実現する根気強さと行動力には目を見張るものがあります。調べ学習に留まるのではなく、科学的な試行錯誤によって、自分の手でミミズが生きやすい環境を作り出した姿勢はとても素晴らしいです。これからも「好き」を原動力に、ミミズや他の生き物に関する研究を続けてください。次はどのような発見があるのか、楽しみにしています。

中央出版株式会社 社長賞

ぼくにもわかる！アレルギーひょうじ

佐藤 悠千 | 愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 1年



〈選考理由〉

過去にくるみアレルギーで入院した経験を持つ悠千さんは、アレルギー表示を保護者様に確認してもらう必要がありました。1年生になって字が読めるようになったことを機に、自分でアレルギー表示を確認することに。多くの商品を実際に行って、自分が「わかりやすい」と思う表示とそうでないものの共通点を探す作業が、時間がかなりかかる中でとても丁寧でした。自分よりも多くの漢字を知っているご兄弟や、自分と視力が異なるおばあさんにも意見を募って、さまざまな視点から「わかりやすい」を追及している点が非常に興味深かったです。

わかりやすいかどうかの判断基準についても、実際に自分を使ってクイズ形式にして確認するというおもしろいアイデアでした。その結果で、自分にとってのベストな表示を作るという結論も一貫性がある素晴らしいです。ぜひ実際に作ってみてください。